

令和7年、西暦2025年が始まりました。新しい年が始まると、今年こそは〇〇をしようといった目標を（なかなか実現させることができませんが）立てること機会が多くありますが、スタッフの皆さんはどんな目標を立てるのでしょうか？ 実現できることが望ましいですが、すべて実現できるとは限りません。まずは目標を意識し、努力していくことが大切だと思います。

スタッフには、1月に新しい職場でのスタートを予定している人もいます。幸多かれと祈るばかりです。

12月は、雨や雪が降ることがほとんどなく、派遣業務先での除草活動は予定通りに作業を進めることができました。生垣の剪定作業はスムーズに何回も行えたことで、刈り込みバリカンも安全に使用でき、なかなかきれいに作業ができるようになりました。一方で刈り込みバリカンのモーターや刃、コードに支障をきたすことも度々ありました。それに合わせて、メンテナンスや修理のスキルが高まってきているとよいのですが……。

生垣の剪定作業



刈り込みバリカンを使用して、いくつかの学校の生垣を剪定しました。長机をイメージしたり、丸（球）い形をイメージして作業を進めます。また、生育して高くなってしまった木を半分程度の高さに伐採したり、支援員がチェーンソーで伐採した枝を短く切って整理したりもしました。歩道や車道に面した場所では、歩行者や車の往来に注意しての作業となりますので、いつもとは異なる注意をしながらの作業となりました。



感謝の言葉



作業をしていると、先生方はもちろんですが、児童の皆さんからも「いつもありがとうございます」という声をかけてもらうことが多くあります。「ありがとう」は魔法の言葉と言われるように、言われた人はもちろん嬉しくなったりしますが、言った人もとても満足感を高め幸福感が増大すると言われていています。一言ですが、感謝の言葉を通して、モチベーションの向上を目指し、信頼関係を構築して、ポジティブな職場環境を促進していけたらと願っています。

写真は、特別支援学級から雑巾をいただいたときに添付されていたメッセージカードとポップコーンです。ポップコーンは美味しくいただきました。

